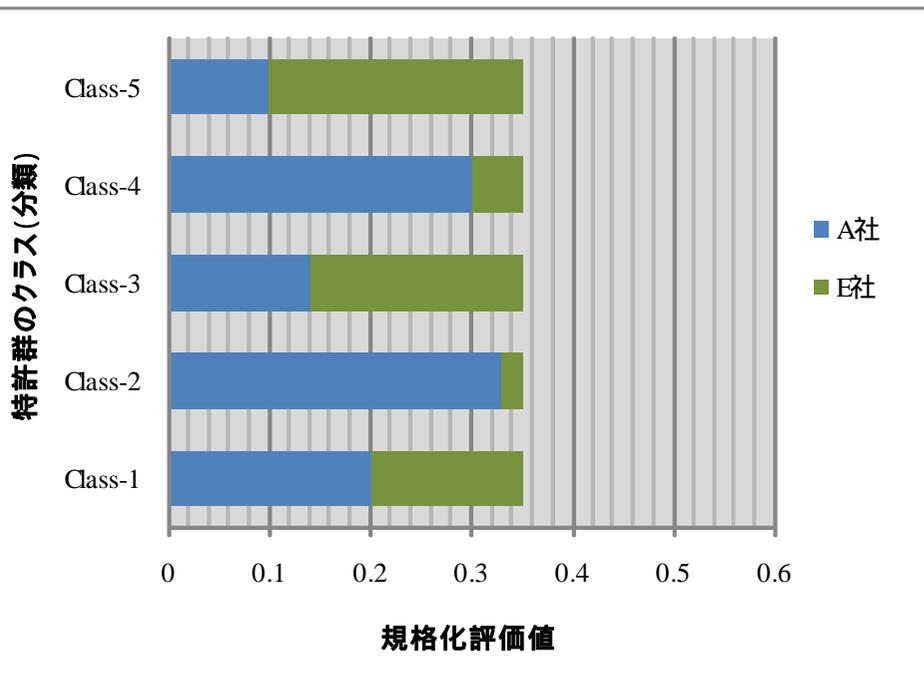
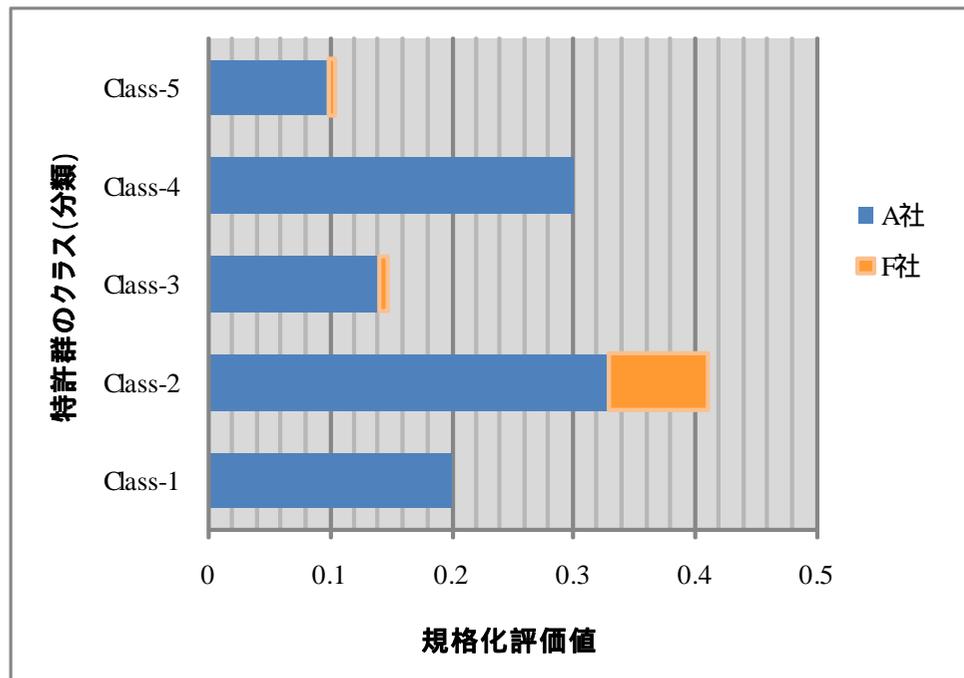


# IPBパテントスコアを用いた分析事例 -アライアンス分析-

## 特許群の分類と評価値を利用したアライアンス指標の考え方



左図 2社間の「技術補完度」  
(提携による相互補完関係)

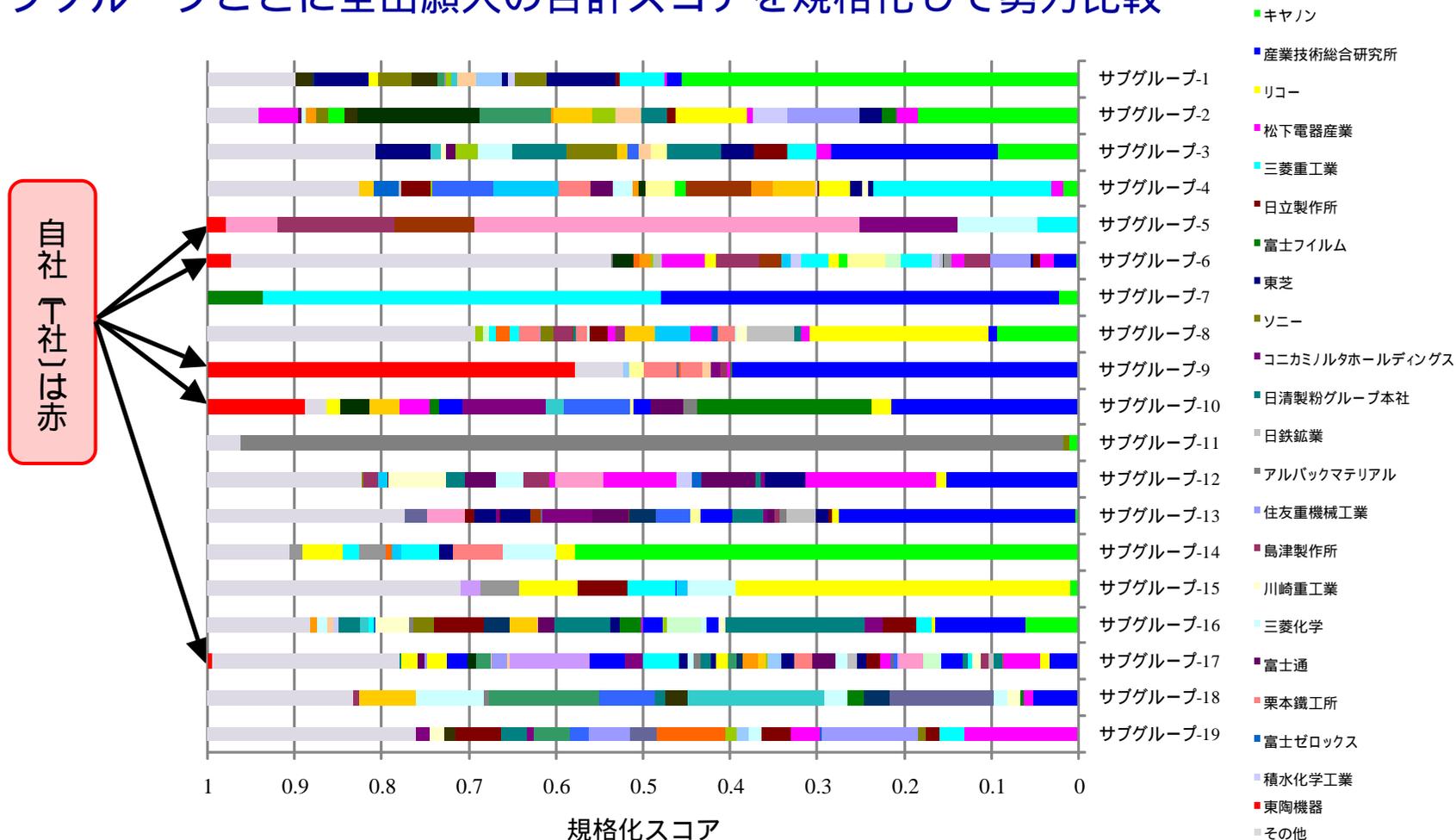


右図 2社間の「技術深耕度」  
(提携による特定技術要素の深耕)

「技術補完度」にて自社とWIN to WINとなる提携先選定  
 技術補完度は最大で1、最小で - 1  
 技術補完度が**正の値** 提携後の全クラスの評価値が**均衡**  
 技術補完度が**0** 提携前と**変化無し**  
 技術補完度が**負の値** 提携後のクラス別評価値が**不均衡**

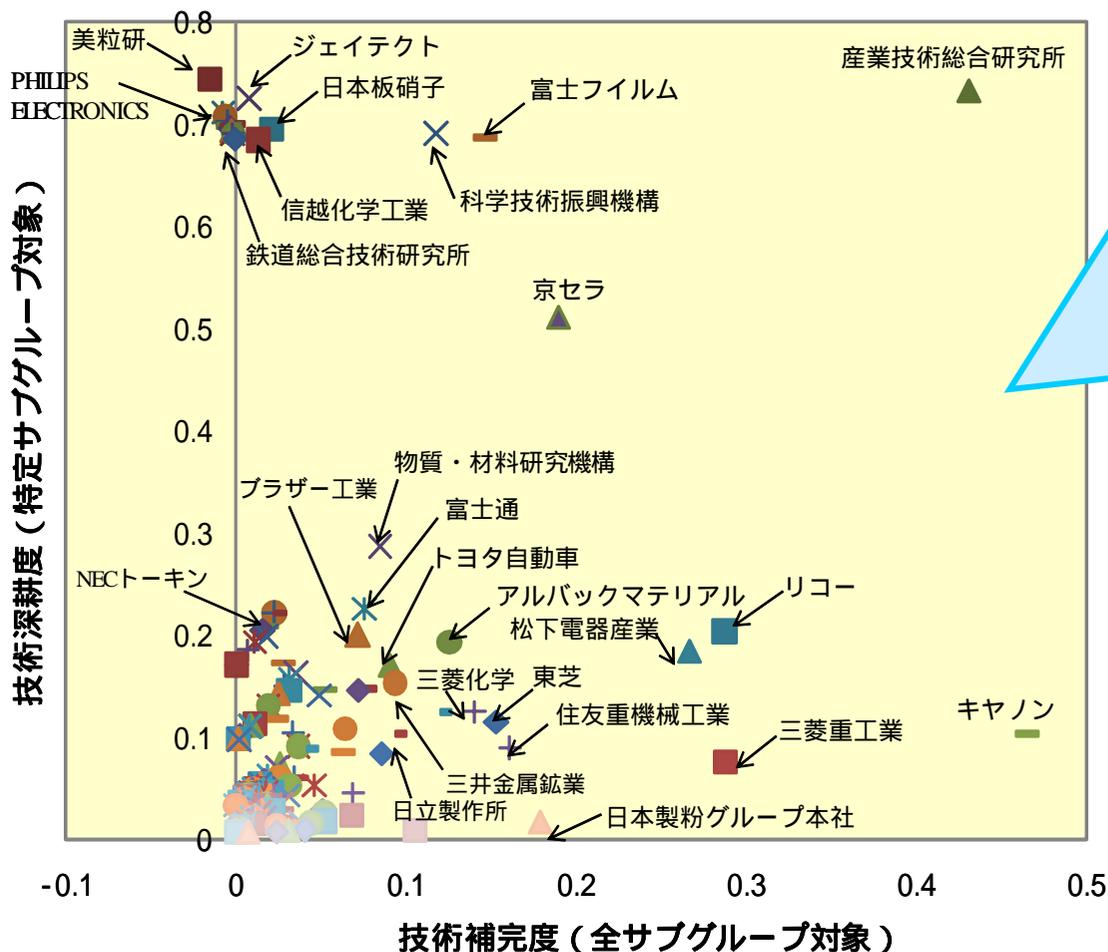
「技術深耕度」にて自社の強みに**増強効果**を生む提携先選定  
 技術深耕度は最大で1、最小で0  
 技術深耕度は提携前後で変化のあったクラス中で  
 提携後の評価値中の**最大値**

## サブグループごとに全出願人の合計スコアを規格化して勢力比較



全出願人のサブグループスコアをサブグループごとに規格化  
各出願人のサブグループスコアから見える相対的な強さを可視化

## T社 と各出願人とのアライアンス



類似特許群におけるT社と  
競合企業のアライアンス

〈分析事例(左図)〉

技術補完度の高い企業TOP3

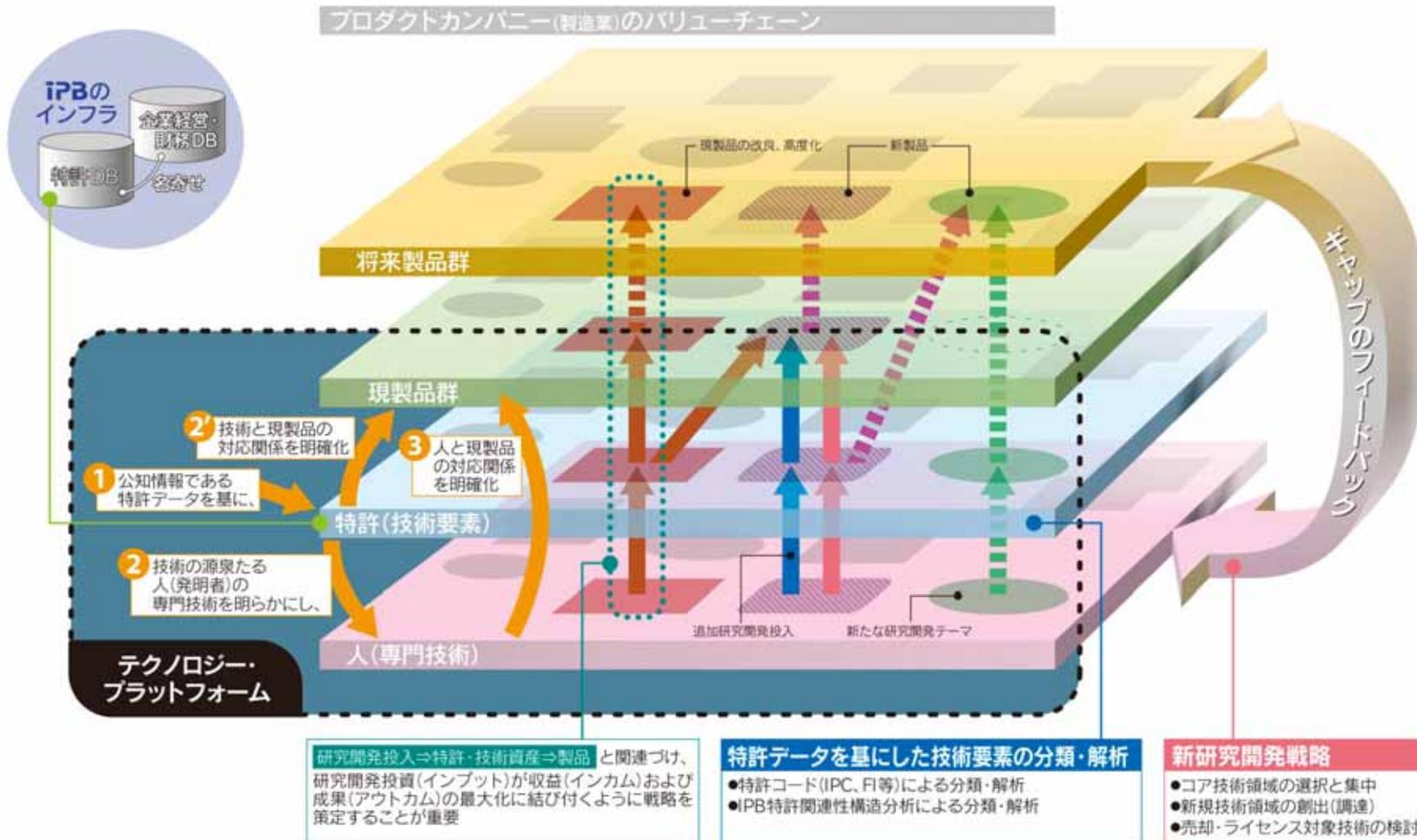
- 1位 キヤノン(株)
- 2位 (独)産業技術総合研究所
- 3位 三菱重工業(株)

技術深耕度の高い企業TOP3

- 1位 (株)美粒研
- 2位 (独)産業技術総合研究所
- 3位 (株)ジェイテクト

類似特許群におけるサブグループ単位のスコアで技術補完度と技術深耕度を算出  
自社と競合他社のアライアンスを可視化

●戦略策定においては、研究開発(発明者) 特許 製品(+ 将来の製品)のバリューチェーンを可視化し、戦略策定の課題を明確化することが重要である。IPBの知財分析メソッドは、公知情報として自社・他社問わず「見える化」されている特許情報を機軸に、分析を行うものである。



本資料に掲載いたしました、図表、データおよび文章等、一切の情報に関して、無断での引用、転用、転載、複製につきましては、固くお断りさせていただきます。

## Contact Information

株式会社アイ・ピー・ビー

TEL: 03-3519-8830(代)

FAX: 03-3519-8831

<http://www.ipb.co.jp/>

**IPB**

Intellectual Property Bank